

WEB版♥甲子園短期大学通信

2022年度-Vol.2

令和4年10月31日発行

フィールドワーク研修

令和四年九月十七日(土)、Ⅱ回生が徳島県にある大塚国際美術館へフィールドワーク研修に出かけました。

大塚国際美術館は、陶板で原寸大に再現された西洋の名画が約千点もあり、世界二十六カ国、百九十余の美術館が体験できる珍しい「陶板名画美術館」です。



ヴァティカンにあるシステリーナ礼拝堂の天井画と正面壁画「最後の審判」を再現した

システリーナ・ホールで記念撮影を行い、現地に行ったような気分を味わいました。
フィンセント・ファン・ゴッホの花瓶に入った「ヒマワリ」は、世界に点在する七点すべてが展示されており、迫力を感じ

ました。特に、芦屋市で空襲により焼失した幻の「ヒマワリ」はここでしか見ることができず、陶板名画の魅力が堪能しました。
感染防止に配慮しながらの研修でしたが、久しぶりに友人との交流が広がる良い機会となりました。



高野山研修

新型コロナウイルス禍により、Ⅱ回生の高野山研修は予定を延期し、九月十二日(月)に実施しました。

晩夏の暑さが残る中での参拝となりましたが、バスから降り、高野山の空気に触れた瞬間に、厳粛な空気が寄せてくるのを感じました。

甲子園学院物故者慰霊塔に皆で静かに手を合わせ、学院への感謝と学びへの気持ちを新たにしました。



第47回にしのみや市民祭り

令和四年十月二十二日(土)『第47回にしのみや市民祭り』の大学コーナーにおいて、「みんなみんな集まれの会」を実施しました。

コロナ禍で市役所周辺での実施は三年ぶりとなりました。短大からは学友会の学生と生活環境学科1回生十五名が参加。スケッチブックシアターやぬり絵、くじ引きなどを実施し、多くの子どもたちの歓声が響く、熱気あふれるブースとなりました。

学生は、準備をした企画が子どもたちに喜んでもらえて、充実した時間を過ごすことができました。

昭和四十八年から始まり、今回で四十七回目を迎える『にしのみや市民祭り』の目的とされる「市民相互の理解と連帯を深め、生活文化の向上と郷土西宮の発展に寄与すること」に、大いに貢献できたことを学生は実感していました。何より子どもたちの笑顔が嬉しく感じられました。

